

2020年10月 頸椎疾患に対するリハビリテーション

当院リハビリテーション部では、定期的に院内研修会を開催し、スキルアップに努めています。毎年度、全員で一年間の研修会目標やテーマを決めて、取り組んでいます。今月より、疾患別のまとめを各自に振り分けて、パワーポイントにまとめ、毎週金曜日の昼休みに順次、発表していきます。今月は頸椎疾患に対するリハビリテーションをテーマに座学・実技の研修会を開催しました。

2020年10月 部内勉強会のご報告 テーマ：「頸椎疾患に対するリハビリテーション」

●項目

頸椎疾患概要（頸椎椎間板ヘルニア・頸椎症性神経根症・頸椎症性脊髄症・後縦靭帯骨化症）

画像所見のポイント

手術概要

合併症（胸郭出口症候群・頸動脈絞扼症状 ect・・・）

評価（問診・疼痛検査・可動域・神経系検査・アライメント・手指巧緻性テスト・反射・
整形外科テスト・神経ストレステスト）

プロトコール

リハビリプログラム（術後・保存）

症例紹介



●まとめ

今回は、頸椎の疾患の特徴から評価・リハビリプログラムまでの流れを3回に分けて発表していただきました。当院では、入院・外来にかかわらず頸椎疾患患者を担当することが多く、発表内容に加えて各セラピストの評価方法や治療方法などを紹介しあうことが出来ました。そのため、実際に頸椎疾患を担当したことの無いセラピストも、疾患の基礎知識から臨床応用まで学ぶことが出来たと思います。来月は腰部疾患の保存療法について発表していただく予定です。